

Safety Report

セーフティポ 高齢者

自分が運転している映像を観察し、改善点を高齢ドライバー自ら考える

ツインリンクもてぎの交通安全センター、アクティブセーフティトレーニングパーク (ASTP) では、栃木県の委託により県内在住の高齢ドライバーを対象とした「しあわせ高齢ドライバースクール (以下、スクール)」を開催している。クルマを必要とする高齢ドライバーに、安全・快適に運転を続けてもらうことがスクールの目的だ。使用する安全運転教育プログラムは、Honda が独自に開発したもので、「自分の運転行動を客観的に振り返る (自己観察法※)」 「受講者自ら答えを見つけ出す」ことが特徴である。平成 21 年度から始まり、平成 28 年度までに 1000 人以上が受講している。

※自己観察法＝東北工業大学の太田博雄名誉教授らが (公財) 国際交通安全学会などで研究成果を報告している手法。自分の運転をビデオで録画して観察し、「我が身振り返り見て、我が振り返直す」手法。

「しあわせ高齢ドライバースクール」のカリキュラム

- ① 運転自己評価表で自分の運転を振り返る
- ② 実車でコースを運転
- ③ 記録した映像・データをもとにグループディスカッション
自らの気づきを促す
- ④ KYT
生活場面の危険、交通状況に潜む危険を予測する
- ⑤ 確認走行

2月28日、栃木県壬生町の高齢ドライバー6人が受講した。まず、一人ひとりに運転自己評価表を配付し、現状把握のために、机上でこれまでの自分の運転について振り返ってもらう。その後、受講者はインストラクターが同乗する実車で指定されたコースを運転。車内外に設置したカメラやセンサーで、運転の様子と速度や加減速、車体の挙動などの変化を撮影・記録する。全員の走行が終わると、受講者は3人ずつグループに分かれ、インストラクターと記録された映像やデータをもとに話し合う。「止まれ」の標識のある交差点を通過する場面では、どのように停止線の手前で一時停止しているかをチェックするため、画面の速度表示に注目してもらう。「0km/h になっていないね」と受講者は苦笑い。「皆さんは止まっているつもりでも、実際には止まっていませんでした。きちんと止まった上で、左右が安全であるかどうか確認することが



実車走行で記録した映像をもとに、インストラクターが各々の気づきを促す

大切です」とインストラクターが補足する。また、交差点を左折する場面では、自分が運転している映像に注目してもらい、巻き込みを防ぐために必要な左後方の確認のタイミングがどうか、目視確認が適切にされて、十分であるかどうかを客観視することで、受講者に気づかせる。今まで適切に対応できていて今後も継続する点と、不足していて改善すべき点を運転自己評価票を使って確認してもらうことにより、「気づき」の手助けをするのである。

午後は KYT (危険予測トレーニング)。寝室の様子が描かれた生活場面の KYT シート (写真参照) を受講者に渡し、危険と思われる箇所にシールを貼り付けてもらう。「危険だと思った箇所が多ければ多いほど、様々なところに気を配ることができ、危険感受性 (危険を危険と感じる力) が高いといえるでしょう。運転中の場面でも危険と感じる箇所をいかに増やせるかが、事故を防止する上で重要になってきます」と



生活場面の KYT シート



動画 KYT を使って、受講者に危険と感じた点を答えてもらう

インストラクターは KYT の意義を説明した。

次に、動画による KYT (Honda 動画 KYT)。実際の交通状況を再現した動画を見せて、受講者にどのような危険を感じたか答えてもらう。そして、そのような危険を回避するためには、どのような運転をすべきかを全員で話し合った。

最後に確認走行として、受講者は午前中と同じコースを気づきがあった内容に注意して運転。「運転は自分自身をコントロールする気持ちが大切になってきます。気持ちの部分が乱れてしまうと事故につながりやすくなるので、注意しましょう」と、インストラクターが締めくくり、スクールは終了した。今回のスクールを担当した福岡孝恭インストラクターは「高齢者の場合、左折時に左後方の目視確認をしない傾向が多く見られます。加齢によって、身体をうまく動かさないので省略してしまうのでしょうか。私たちが指摘するのではなく、ご自身の運転を観察し、振り返ってもらうことで、現状を正しく認識していただき、安全意識を高め、安全行動が行えるようになるためのサポートをしたいと考えています」と話す。受講した高齢ドライバーの感想 (下記参照) から、自分の運転する映像を目の当たりにすることによって、受講者も自分の問題点を納得して受け入れられるようだ。このような受講者の気づきを促す教育が、運転行動の改善に導いていくといえる。



受講者はインストラクターを助手席に乘坐、指定されたコースを運転する



コースには「止まれ」の標識のある交差点などが設定されている



実車走行で記録した映像。カメラで前方 (中央) と左後方 (左下)、ドライバーの姿 (右下) などを撮影

●受講者の方々の感想

- 高齢になって、どんなところが衰えているか、知りたいと思い参加しました。自分が運転している映像を振り返るなど口で言われるより、わかりやすい内容でした。
- 自分が運転している姿を客観的に見るのは生まれて初めてだったので、とても新鮮でした。自分の運転の良いところ、悪いところがわかりました。今後は、守るべきことは守る、確認すべきところは確認しようと思います。
- 初心者の時に学んだことを思い出すことができました。また、危険はどこにでも潜んでいることをあらためて感じました。今日、学んだことを老人会の仲間にも伝え、興味のある人には受講を勧めようと思います。

Safety Info.

インフォメーション②

Honda セーフティトレーニングセンター四国がリニューアル

(所在地: 香川県坂出市江尻町 1 番地 138)

香川県坂出市にある Honda の安全運転研修施設 Honda セーフティトレーニングセンター四国がリニューアルオープンした。今回のリニューアルで全体敷地面積が約 1.4 倍に拡張され、様々な研修カリキュラムに対応できるレイアウトとなった。同センターを活用した四国地区の企業・団体等への安全運転教育のさらなる充実が期待される。



3月23日に開催された同センターの開所式



コースを拡張したことで、直線路が従来よりも長くなっている